慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	2015年度『ベスト・プレゼンテーション賞』選考結果
Sub Title	Best presentation award
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2015
Jtitle	Library and information science No.74 (2015.) ,p.71- 71
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000074-0071

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2015年度『ベスト・プレゼンテーション賞』選考結果

ベスト・プレゼンテーション賞は，研究大会における口頭発表の中から，優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は，口頭発表では，決められた時間の中で，研究の内容を正確に伝え，また，聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし，説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること，さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2015年度の対象者は学生としての所属を明示した登壇発表者（大学院生など）とし，研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づく投票を行いました。（なお，2007年度から2011年度までは発表者全員を対象とし，発表の内容ではなく，プレゼンテーション技法を評価の対象としました。）

この賞の受賞者は，研究大会の参加者の投票によって選ばれます。今回は37票の投票があり，以下の発表が最多の10票を獲得しました。

2015年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者
山下　樹子氏（慶應義塾大学大学院）
発表題目：短期大学の使命と図書館：第三者評価結果による分析

得票の主な理由は，話し方もスライドもわかりやすかった，話す声の大きさやスピードが適切だった，質問への回答内容が明快でわかりやすかった，などでした。受賞した発表スライドのPDF版を学会ウェブサイトで公開しています。